

10年後の地域医療に貢献する“**将来の薬剤師**”を養成

医系総合大学と地域の連携による実務実習の質の向上 (養成人数 100 人)

“4つの力 (COMPETENCY)”

“チーム医療を担う能力”

学部横断型 研修プログラム

- ・昭和大学8附属病院診療所と地域の在宅医療施設を活用
- ・薬・医・歯・保健医療学部学生と共にSGD形式で参加型研修
- ・専門的知識の共有、チーム医療と指導者の役割を体感

“臨床判断・トリアージ能力”

参加型グループ学習による臨床判断能力養成プログラム

- ・在宅医療、薬局でのプライマリケアの実践力養成
- ・症候学に基づく医療面接手法とフィジカルアセスメント能力の修得
- ・適切なトリアージとセルフメディケーション支援の実践

“薬学的管理能力”

医薬情報の収集・解析・発信力開発プログラム

- ・適切な薬物療法や医療安全対策を実践するための知識・技能・態度の修得
- ・医薬情報の批判的吟味能力の修得
- ・医薬情報の活用能力の醸成

“ファシリテート実践能力”

実務実習における指導能力向上プログラム

- ・ロールプレイによる実践的コミュニケーション能力の養成
- ・PBL形式を用いたリーダー、マネジメント実践能力の修得

本プログラムの取り組み

IT支援システムの活用(電子ポートフォリオ、薬-薬-学連携支援システム)

連携



- ・実務実習施設(薬局:約200施設/年 附属病院:約130病棟/年)
- ・大学を拠点とした地域医療提供施設(東京都・神奈川県内)
- ・病院薬剤学講座(昭和大学病院薬剤部)

これまでの実績

- ・学部連携病院・地域実習 (6年次学部生を対象)(H23年度～) 約30人履修
- ・薬-学連携プログラム (教員・実務実習指導薬剤師を対象) 21回 約600人受講
- ・スキルアップセミナー (病院薬剤師・教員を対象)(H21年～)4回 約120人受講
- ・生涯教育セミナー (病院・薬局薬剤師、教員を対象) 44回 約7000人受講
- ・城南地区セミナー (病院・薬局薬剤師、教員を対象) 30回 約4500人受講

図1 「地域医療に貢献する臨床指導薬剤師の育成」の概要